



「善循環の輪質疑応答エッセンス集」(広報担当 大山)

「善循環の輪 とくしまの集い in 鳴門」から

◎(ブルーベリー栽培における)台風後の処理について

<質問要約>

台風の被害に遭ったブルーベリーに例年以上に EM を散布したところ、その後の着果・成熟共に良好でシュートが太くなる傾向が見られました。この現象について、解説をお願いいたします。

<比嘉教授からのコメント>

台風は植物にとっても強烈な酸化現象を誘発します。まず風でゆすられて衝撃を受けます。次に塩分を含んだ風にさらされます。EMは強い抗酸化作用を持っていますので、このような衝撃や塩害を消去し、酸化で消耗した植物を保護します。ですから、台風の直後できるだけ早くEM 活性液を散布し、一度だけでなく何回も立て続けに散布することが重要です。同時に風にさらされて刺激を受けると花芽分化が促進されます。ブルーベリーは栄養条件が良ければ四季なりの性質がありますので、植物に体力があれば台風の刺激を受けることで着果が促進されます。

白井市D小学校校庭の除染について

地域の環境について学ぶ「環境学習」
“放射能対策”と“みたらし池対策”の
取り組みにも挑戦!

日ごろから環境教育に力を注ぐ小学校(校長)では、今年、6年生(35名)の環境学習として従来より取り組んできた金山落川のEMだんご1000個投入による水質浄化と川底のヘドロ分解(ヘドロが70cm減少)のほかに、6グループに分かれてテーマを決め、活動しています。地域の環境整備に取り組む子どもたちの活動を紹介します。

①グループ……校庭の一部の放射線量の減少を図るため、EM活性液を散布。9月初めまで3回のペースで実施します。

講師は白井市放射能対策室の山本敬伸さん、講師、測定機の使い方を指導

校庭の一部に活性液を
一列に並んで散布します

②グループ……「白井の史跡」について白井市教育委員会文化課の秋本善久さんから学んだあと、史跡で学校近くの「みたらし池」の水質改善に取り組みます。こちらでも3回のペースでEM活性液を投入し水質の変化を観察していきます。

EM ネットちば様から、白井市の市民団体活動支援補助金事業の一環として取り組んだ、小学校の校庭におけるEMを用いた放射線量低減化について報告ございましたの、紹介いたします。

実施面積	150平米
E M 散布	一回当たり20~50LのEM活性液を水で3倍に希釈し毎週散布。本報告時点で合計350LのEM活性液を散布した。

測定ポイント		実験前	最終日	減少率
地点①(土) EM区	地面0cm	0.230	0.126	45.2%
	地面50cm	0.250	0.124	50.4%
地点②(芝) EM区	地面0cm	0.320	0.258	19.4%
	地面50cm	0.290	0.191	34.1%
地点③(芝) 未処理	地面0cm	0.230	0.296	-28.7%
	地面50cm	0.270	0.212	21.5%
地点④(土) 未処理	地面0cm	0.200	0.055	72.5%
	地面50cm	0.230	0.093	59.6%
地点⑤(草) 未処理	地面0cm	0.250	0.244	2.4%
	地面50cm	0.240	0.191	20.4%

地点①と地点④、地点②と地点③は、それぞれ隣接しており、未処理区の③④はEM散布の影響を受けていることが考えられます。試験を実施する際は対象区の設定に留意した方が良さそうです。本試験は一定の評価を得て、白井市内6000世帯に配布される新聞折り込み情報誌「ほおじろ」176号(7月号)で取り上げられています(左上の写真が記事)。

U-ネット提供ラジオ番組「EMコーナー・テーマソング」が発売されます
内海利勝さんの「Climb over a fence 一垣根をこえて」が販売されます。比嘉先生も作詞に協力しており、アコースティックでレイドバックした曲です。このCDの販売収益金は、U-ネット震災復興プロジェクトに寄付いただけることになっております。お問い合わせは「EMわくわくネット三重(電話059-229-2964)」まで。

◇◇◇◇◇ イベント、講演会のご案内 ◇◇◇◇◇

- びせいぶつとほんもの野菜のおいしい話!! -親子でたのしく健康に-
【日時】9月2日(日) 開場 13:00 【場所】東京証券会館8階ホール(メトロ「茅場町駅」すぐ、JR「東京駅」八重洲北口から徒歩10分) 【主催・申し込み】EM生活(Tel052-709-7600)
- 善循環の輪 薩摩の集い in 枕崎
【日時】9月22日(日) 開演 10:30 【場所】枕崎市民会館ホール 【問合せ】U-ネット事務局